

県民いこいの森野営場の指定管理者

公募施設（指定の公表）

県民いこいの森野営場の指定管理者の公募を行い、県民いこいの森野営場指定管理者評価委員会での評価結果を踏まえ、総合的に判断した上で、候補者を選定し、令和7年11月香川県議会での指定の議決を経て、次のとおり指定管理者を指定しました。

- 1 申請団体数 1 団体
- 2 申請期間 令和7年9月5日から令和7年9月19日まで
- 3 指定管理候補者 特定非営利活動法人しおのえ（高松市塩江町）
- 4 指定予定期間 令和8年4月1日から令和13年3月31日まで（5年間）
- 5 評価委員会における評価結果
申請者から提出された書類の確認やプレゼンテーションを実施し、総合点数方式により評価した。

（1）評価基準

評価基準及び観点		配点ウエイト
(1) 利用者の平等な利用が確保されていること。	不当な利用制限項目の有無	(確保されない場合は、失格)
(2) 冬季の適切な管理が確保されていること。（山中施設の特異性）		
(3) 施設の設置目的を効果的に達成し、サービスの向上が図られるものであること。	①施設の設置目的との適合性 ②利用者に対するサービスの向上 ③施設の利用促進への取組み ④その他新規、魅力的な提案の有無	3 5
(4) 施設の管理経費の節減が図られるものであること。	①当該施設の管理運営に係る県の経費 原則として申請者からの提案額アと最低提案額イにより評価する。 ＜計算式＞【申請者の点数】＝25×イ／ア ②実現の可能性	2 5
(5) 申請者が事業計画の内容を安定して遂行できる能力を有していること。	①申請者の実績 ②人的能力（管理運営組織） ③物的能力（経営基盤） ④申請者の安定性・信頼性 ⑤申請者の取組み姿勢 ⑥個人情報の適正な取扱いの確保 ⑦関係法令等の遵守や利用者の安全の確保	2 5
(6) 地域経済の活性化や県内雇用の確保等に配慮されていること	①県内に本店又は主たる事務所を有する法人等であるか	(確保されない場合は、失格)
	②県内雇用の確保等 ・県内からの雇用に配慮されているか ・物品・役務の調達における県内事業者への発注などが予定されているか 等	1 5

(2) 評価委員会の開催経緯

- ・第1回評価委員会（R7.10.1～7）
県民いこいの森野営場の概要説明、申請内容等の確認、書類による資格審査
- ・第2回評価委員会（R7.10.15）
プレゼンテーション、事業計画書の評価とその結果の審議、指定管理者候補者の選定

(3) 評価結果

※点数は、評価委員の平均

	特定非営利活動法人しおのえ
得点	83.3

- ・評価基準(1)について、平等な利用が確保できるものと評価された。
- ・評価基準(2)について、冬季の適切な管理が確保できるものと評価された。
- ・評価基準(3)について、ゴールデンウィークや夏休み期間中以外のこれまで利用者が少なかった時期にもイベントを開催するとともに、地域の団体と連携して新たにイベントを行う等、利用促進に向けた取り組みが評価された。
- ・評価基準(4)について、人件費が現行の金額より増加しているが、物価及び人件費が上昇するなか施設の適切な維持管理を図るためには必要なものであると判断した。
- ・評価基準(5)について、決算書により経営基盤が安定していることが確認でき、現指定管理者としての実績、管理運営体制の提案等から安定して業務を遂行できるものと評価された。
- ・評価基準(6)について、利用者増加による町おこし・地域の活性化に寄与することが評価された。

6 事業計画の概要

(1) 現行の管理との比較

	事業計画	現行
県からの年間委託料	(指定予定期間中の平均) 7,500 千円	(指定期間(R3年4月～R8年3月)中の平均) 7,385 千円

注) 事業計画は、確定したものではなく、今後変更する可能性がある。

(2) その他利用者サービス向上策

- ・野外活動に必要な物品の販売・貸し出し(バーベキューセット・テント等の貸し出し、炭・薪等の販売)を行う。
- ・ホームページによる情報発信、塩江温泉観光協会の SNS を使用した情報発信・ポスター掲示、公民館・コミュニティーセンターへのチラシ配布、野外活動グループとの情報交換等による広報活動を行う。

(3) 経費節減策

- ・地域のホテル・旅館・体験施設・同種キャンプ場等、お互いが持っている資源の活用・協働助け合いをしながら、共通の認識で業務を行う。

(参考) 評価委員会委員

	役職名	氏名
委員長	香川県環境森林部長	秋山 浩章
委員	香川県環境森林部みどり保全課長	井上 嘉久
委員	公認会計士	武田 真由美
委員	社会保険労務士	山田 哲生
委員	香川県レクリエーション協会理事 かがわ自然観察会代表	好井 智子
委員	高松リビング新聞社編集長	谷本 小百合